

2 特定中山間保全整備事業及び農用地総合整備事業

○ 特定中山間保全整備事業等の事業実施完了後の評価

【第1-2-(3)】

要 旨

令和2年度は、邑智西部区域の完了後の評価を実施した。

(1)ー1 完了後の評価

前年度までに、基礎的資料作成を行った邑智西部区域について、技術的・専門的な知見を有する者で構成される技術検討会の意見を含む評価結果をとりまとめ、令和2年9月末に公表した。

1. 邑智西部区域(特定中山間保全整備事業)

- ①関係市町村 島根県浜田市、江津市、邑智郡邑南町
- ②総事業費 12,811百万円(うち、農業部門は9,809万円(決算額))
- ③工 期 平成19年度～平成25年度
- ④事業内容 区画整理39ha、暗渠排水80ha、客土22ha、農業用排水路21km
ため池整備1箇所、林地転換1ha、農林業用道路9.1km
森林整備(水源林造成60ha、分収育林31ha)

本評価は、林業部門(水源林造成、分収育林)を除いた農業部門を対象として行っている。

完了後の評価結果の概要

農用地、農業用排水施設等が整備され、区画の整形・拡大、耕作道の整備、排水不良等が改善されたことで、農業生産性の向上や耕作放棄地の発生防止が図られている。また、区画整理等を実施した団地で農事組合法人が設立されるなど担い手の育成・確保が進められている。

農林業用道路が整備されたことで、農林畜産物の輸送時間の短縮が図られており、木材チップや堆肥、WCS用稲の輸送にも利用され、地域での円滑な資源循環や耕畜連携の強化に寄与している。また、地域住民の通勤、通院や買い物などに利用され、地域住民の利便性の向上が図られるとともに、消防などの緊急車両の通行や豪雨災害時等の非常時の別ルートとして地域の安全確保にも寄与している。



区画整理(上大貫団地)



農林業用道路(3工区)

(1)－2 技術検討会委員

令和元年度事後評価 技術検討会の委員		
氏名	専門分野	所属等
浅野 耕太	環境経済	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
橋本 禅	農村計画	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
大屋 典香	地域振興	地域商社 ビレッジプライド邑南 事務局長